

第1回定例会（6月議会）報告



期間：6月9日（月）～20日（金）

強く求めてきた教室エアコン一部実現！特別支援学校の教室にエアコンが設置されます
教育予算拡充を求める意見書は可決、採択！
集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書は否決！

【主な議案】

- 平成26年度補正予算 1億5732万4000円の増
- 地域コミュニティー再生事業費補助 1000万円
 - 緊急雇用創出事業 4072万4千円
(介護・福祉、障害・福祉人材確保 11人)
 - 介護サービス基盤施設整備費 1億4010万円
 - 生活保護扶助費（就労自立給付金費） 300万円
 - ※がんばる地域交付金に係る事業費
1億5835万8千円（一般会計分 9914万円）
※H25経済対策として創設（全額国庫補助）、財政力や行革の取り組みを加味して配分される。
がんばる地域交付金の主な事業
 - ・手鎌野間川河川改良事業費 2500万円
 - ・特別支援学校普通教室エアコン 3500万円
 - 経済対策による前倒減額分 -2億1165万円 等

【主な条例】

- 市税条例の一部を改正する条例
 - ・軽自動車税费引き上げ
 - ・国民健康保険税・課税限度額の引き上げ
低所得者に対しては軽減制度の拡大

【護憲クラブから提出した意見書】

- ・集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書
- ・特定秘密保護法の廃止を求める意見書
- ・労働者保護ルールの改悪に反対する意見書の3本は自民・公明・無所属の反対により賛成少数で否決
- ・教育予算の拡充を求める意見書
自民・無所属は反対、賛成多数で可決

2014年度 上期の活動から

6月8日 3年を経て福島は今 原発事故から学ぶ 第7回連続講座「福島まなびの旅」でお会いした元富岡町役場職員で原発担当の課長をしていただいた白土庄一さんに講演していただきました。原発立地町は、電源三法交付金や多額の補助金等、多額のお金をもらって東電に逆らえない企業城下町となっていた。富岡町の自宅にはもう住めない等、深刻な福島の現状を話していただきました。私も、事務局の樋口先生と共に、今回の「福島まなびの旅」の概略、見たこと、お会いして聞いた話、感想などを報告しました。



6月15日 「不登校と私と未来」フレンズネットワークくまもと主催
3名のパネリストから不登校経験のお話がありました。1人はご本人、2人はお母さんです。どの方も、本当に苦しい大変な年月を過ごされ、不登校状態も肯定的に受け止めたとき、前向きな生き方を獲得していかれたことが伝わりました。何とか学校へ行けるよう・・・と考えてきた自分と、ここまで子どもを追い詰めてしまうこの国の義務教育の現状について改めて考えさせられました。

6月26日（荒尾三中）27日（山川中）センター方式給食視察

大牟田市でも、やっと来年から中学校給食が始まります。残念ながら、学校毎に給食調理が行われる自校方式ではなく、給食センターで調理された給食が運ばれて来るセンター方式です。給食センター建設や、学校毎の受け入れ室（配膳室）づくりが進められています。各学校ではどんな準備が必要か、しっかりと準備できるのか、不安も広がっています。先生方にも実際に給食準備の現場を見ていただくことが大切だと思います。

